



平成20年2月4日

各 位

会 社 名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
代表者名 代表取締役社長 橋 昌 彰
(コード番号：5726 東証第一部)
問合せ先 総 務 部 長 岡 田 宗 久
(TEL. 06-6413-9911)

現中期経営計画（2007～2009年度）の投資額増額見直し等のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、次なる事業拡大対応の為、現中期経営計画の投資額増額見直し等を決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

[追加投資の主旨並びに概要について]

- ・当社高品質製品に対してユーザーより更なる供給拡大要請が相次ぎ、当社としても将来に向けて、事業拡大機会を確実に掴み持続的成長を図る為、新たな投資等を追加することとした。
- ・投資等の見直し項目は、以下の4点。(追加投資の具体的内容は次葉)

1. 事業拡大用地の取得
2. チタン需要拡大への対応
 - ①チタンインゴット生産能力の更なる増強
 - ②スポンジチタン生産能力の更なる増強
3. 環境・エネルギー関連製品等の工場の移転集約及び新製品研究棟の設置
4. スポンジチタン新製錬法のパイロットプラント建設

- ・これに伴い中期経営計画の総投資額を140億円追加し、当初計画の510億円から650億円に拡大させる。

[追加投資の具体的内容]

1. 事業拡大用地の取得

- ・本社尼崎工場は、スポンジチタン生産能力の38000t/年化により狭隘化し、今後の事業拡張には制約がある為、新たなる土地を探索していた結果、本社尼崎工場からの交通も至便な地で、工業用水・電力等のインフラも整った大阪府により造成された土地を購入する。
- ・尚、本土地については、所定の手続きによる取得後、直ちに上物の建設に着手する。

<取得する土地の概要>

住 所	大阪府岸和田市岸之浦町「ちきりアイランド第1期製造業用地」 (当社との位置関係、土地形状-別紙)
土地面積	69412㎡
現所有者	大阪府
売買契約	(仮契約) 2008年2月5日 (本契約) 大阪府議会の議決を経て本契約として成立
取得時期	2008年3月末(予定)
取得価格	40億円(予定)
製造インフラ(*)	23億円
整備の為の投資額	(*) 製造用地として利用する為の受電設備、排水設備、外溝等

2. チタン需要拡大への対応

① チタンインゴット生産能力の更なる増強

- ・岸和田にVAR炉2基を増設し、年間能力を3000t拡大すると共に、航空機用チタン合金インゴットに進出を果たす。
(うち、1基は、現中期経営計画で予定していた本社尼崎工場設置分の置き換え)
- ・尚、コールドハース方式についても検討してきたが、日本におけるチタンスクラップ市場規模を勘案すると、時期尚早である為見送る。
しかし、引き続き検討を続け、いつでも岸和田地区に設置する体制はとっておく。

<チタンインゴット生産能力増強計画>

	チタンインゴット生産能力増強規模	出荷開始時期	投資額
ステップ1	7000t/年→8500t/年	2009/7	} (ステップ1+2) 47億円
ステップ2	8500t/年→10000t/年	2009/10	

② スポンジチタン生産能力の更なる増強

- チタンインゴット生産能力増強規模の拡大とスポンジチタンの更なる供給要請への対応を目的として、現在本社尼崎工場において増強工事中の新スポンジチタン工場のレイアウト見直しにより、更に年間能力を3000t増強し(ステップ3)、スポンジチタン生産能力を「41000t/年体制」とする。

<スポンジチタン生産能力-追加増強計画>

	スポンジチタン生産能力増強規模	出荷開始時期	投資額
ステップ3	38000t/年→41000t/年	2009/10	36億円

3. 環境・エネルギー関連製品等の工場の移転集約 及び 新製品研究棟の設置

- 現在、本社尼崎工場に分散立地している「半導体向け高純度チタン加工工場 及び 環境・エネルギー関連製品の各工場」の生産効率化 及び 今後の事業拡大対応の為、岸和田に移転集約する。これに合わせ、新製品開発促進の為の研究棟を設置し、開発テンポを速めていく。

<移転される製品>

- 半導体向け「高純度チタン」
- 環境・エネルギー関連製品の「粉末チタン」「SiO」「光触媒等の新製品群」

<移転集約及び研究棟設置時期>

- 2009年8月

<投資額>

- 14億円

4. スポンジチタン新製錬法のパイロットプラント建設

- 環境・エネルギー関連製品等の工場を、岸和田へ移転させることによって発生する本社尼崎工場跡地に、年間能力1000t規模の新製錬法のパイロットプラントを設置する。
(2009年度央より建設開始)
- 本パイロットプラントの開発投資額は20億円と見込んでいるが、現中期経営計画に織り込み済み。

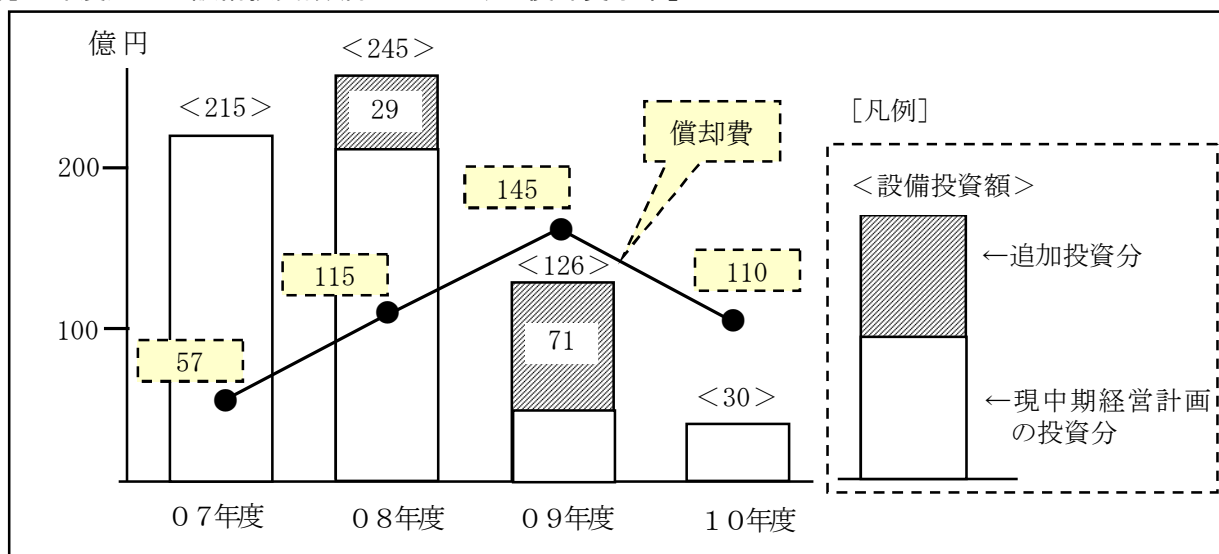
5. 追加投資額とその建設体制

- ・見直し後の投資額（土地代含む）については、下表の通りとなる。
- ・岸和田工場建設については、2008年4月より新組織（岸和田工場建設本部）を設置する。尚、これらの工場建設による岸和田の土地占有率は2/3程度となる。残る1/3のフリースペースについては、今後、更なる事業展開を検討していく。

		<場所別投資額>	
		尼崎	岸和田
現中期経営計画の投資額		510	
新土地代	40		40
〃の製造インフラ整備	23		23
チタンインゴット生産能力の更なる増強	27	-20	47
スポンジチタン生産能力の更なる増強	36	36	
環境・エネルギー関連製品等の工場移転	14		14
追加投資額	140	16	124
中期経営計画の見直し後の投資額	650	526	124

- ・投資額増大による資金については、一時的なつなぎ資金は必要となるが、増資等のエクイティファイナンスは実施しない。

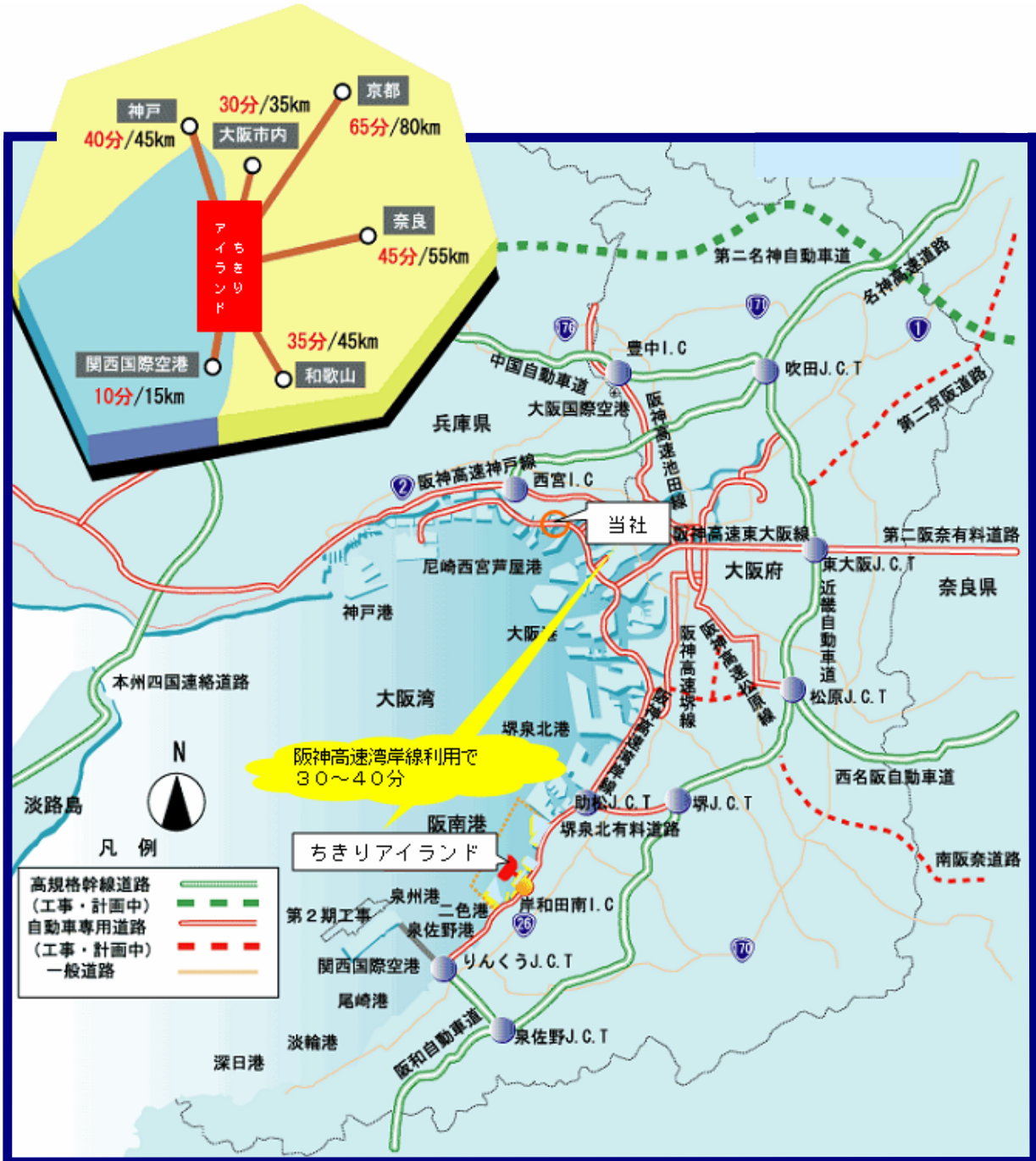
[参考] 年度別の「設備投資額(除く土地代)と償却費水準」



以上

(別紙) ちきりアイランド 当社との位置関係 及び 土地形状

1. 当社との位置関係



土地形状 次葉

2. 土地形状

ちきりアイランドの土地形状

